令和４年度

宝塚市病院事業会計決算

令和５年(2023 年)年８月

宝 塚 市 立 病 院

目　　次

1　決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

2　決算の詳細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

3　建設改良費の内訳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

4　業務実績の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　6

5　主な経営数値・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１０

6　各種業務数値・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１１

7　新型コロナウイルス感染症入院患者数等に関する資料・・・　１５

令和４年度宝塚市病院事業会計決算の概要

１　決算の概要

新型コロナウイルス感染症は、従来株と比べて重症化リスクは低く、伝播性が非常に高いオミクロン株へと変異し、第７波、第８波と爆発的な感染拡大を生じました。

感染拡大期には、連日 100 人を超える PCR 検査受検希望者が来院したことから、対応にあたる医師、看護師及び他職種を増員して、検査体制の確保を優先して取り組みました。PCR 検査の検体採取数は前年度から 4,521 件減少して 4,271 件でしたが、検体採取のうち陽性者数は 1,327 人増加して 3,177 件でした（陽性率:令和４年度 74.4%、令和３年度 21.0%）。

新型コロナウイルス感染症の延べ入院患者数は、前年度から 832 人減少して 2,127 人でしたが、実患者数は前年度より 30 名増加して 313 人でした。実患者数が増加したにも関わらず、延べ患者数が減少したことは、オミクロン株は重症化率が従前株より低い傾向にあり入院期間が短期化したことが理由であると考えられます。

新型コロナウイルス感染症のまん延は、一般の入院医療に大きな打撃を与えました。医療スタッフとその家族に多数の罹患者が発生したこと、加えて院内感染の発生により、コロナ専用病棟に加えて一般病床を隔離病床に転用したことから、マンパワーと病床の不足が重なり、不急の手術や新規入院の受入を延期し、また、救急患者の受入を制限せざるを得ない状況が発生しました。

入院収益については、DPC 入院期間Ⅰ・Ⅱ期（全国平均入院日数以内）の入院期間率が向上(令和４年度 67.4%、令和３年度 66.4%)したこと、また定められた医療水準を満たしたことで新たに得られた診療報酬収入により、入院単価は前年度に続いて改善（令和４年度 70,059 円*[1]、令和３年度 64,417 円*[2]）して、患者数の減少(一日平均患者数:令和４年度 255.6 人、令和３年度 263.4 人)にも関わらず、入院収益は 342,728 千円増加して 6,535,519 千円になりました。

外来収益は、地域の医療機関との連携強化により患者数が増加（一日平均患者数:令和４年度 893.8 人、令和３年度 882.9 人）したことにより、収益は 76,822 千円増加して 4,072,955 千円となりました。

重点施策であるがん医療では、新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、入院実患者数は 93 人増加して 2,480 人（前年度 2,387 人)、放射線治療新規患者数は 20 人増加して 324 人となりました。

医業外の収益では、新型コロナウイルス感染症入院患者の病床確保と患者受入等に対して、国、県及び市から 1,132,036 千円の補助金を収入したことから、経常利益は 586,127 千円（令和３年度 376,199 千円)、純利益は 586,971 千円（令和３年度 366,610 千円）と大幅に改善しました。

宝塚市は学校法人兵庫医科大学と「医療等における連携に関する協定書」(令和４年４月７日付）を締結しました。学校法人兵庫医科大学は昭和 47 年４月の開学当初より本市と深い関わりを持ち続けており、本協定の締結により、将来にわたって医療人材の交流及び医療資源の活用を図り、医療等に係る分野で協力し、地域医療の発展に寄与していくことを相互に確認しました。

また、市立病院の今後のあり方の方向性を示すものとして、令和４年６月に「宝塚市立病院

が目指す病院像」を策定し、市単独での経営を維持しながら、地域の医療機関と機能分化・連携強化を進める方針を定めました。「宝塚市立病院が目指す病院像」を基に、総務省が示す「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に沿い、令和 5 年度に（仮称）宝塚市立病院経営強化プランを策定いたします。

＊ 令和 4 年度入院収益には令和 3 年度に診療した新型コロナウイルス感染症入院患者に係る診療報酬の一部（101,880 千円)を算入。この額を補正した入院単価等は次のとおり（各番号は本文中の注釈番号)。

＊1(令和 4 年度入院単価)68,967 円

＊2(令和 3 年度入院単価)65,477 円

2　決算の詳細

（1） 収益的収入及び支出（損益計算書／税抜）

（単位 千円）

	区　　分	令和４年度	令和３年度	増減額	前年比(%)	備考
収入	**医　業　収　益**	**11,213,903**	**10,763,998**	**449,905**	**104.2**	
	（入　院　収　益）	(6,535,519)	(6,192,791)	(342,728)	(105.5)	※1
	（外　来　収　益）	(4,072,955)	(3,996,133)	(76,822)	(101.9)	
	（他会計負担金）	(445,441)	(450,762)	(△ 5,321)	(98.8)	
	（そ　の　他）	(159,988)	(124,312)	(35,676)	(128.7)	
	医業外収益	**2,289,609**	**2,181,746**	**107,863**	**104.9**	
	（受　取　利　息）	(7)	(3)	(4)	(233.3)	
	（他会計補助金）	(358,143)	(364,361)	(△ 6,218)	(98.3)	
	（他会計負担金）	(179,163)	(225,477)	(△ 46,314)	(79.5)	※2
	（国県補助金）	(1,078,414)	(1,001,474)	(76,940)	(107.7)	
	（長期前受金戻入）	(49,380)	(32,878)	(16,502)	(150.2)	※3
	（資本費繰入収益）	(509,026)	(423,719)	(85,307)	(120.1)	※4
	（雑　収　益）	(353)	(616)	(△ 263)	(57.3)	
	（そ　の　他）	(115,123)	(133,218)	(△ 18,095)	(86.4)	
	特別利益	**3,197**	**5,000**	**△ 1,803**	**63.9**	
	（固定資産売却益）	(0)	(2,060)	(△ 2,060)	(皆減)	※5
	（過年度損益修正益）	(3,197)	(2,940)	(257)	(108.7)	
	収　益　合　計	**13,506,709**	**12,950,744**	**555,965**	**104.3**	
支出	**医　業　費　用**	**12,342,741**	**12,037,254**	**305,487**	**102.5**	
	（給　与　費）	(6,550,266)	(6,556,316)	(△ 6,050)	(99.9)	
	（材　料　費）	(2,793,758)	(2,678,014)	(115,744)	(104.3)	※6
	（経　　費）	(2,140,851)	(2,011,012)	(129,839)	(106.5)	※7
	（減価償却費）	(791,096)	(749,391)	(41,705)	(105.6)	
	（そ　の　他）	(66,770)	(42,521)	(24,249)	(157.0)	
	医業外費用	**574,645**	**532,292**	**42,353**	**108.0**	
	（支払利息等）	(55,406)	(61,435)	(△ 6,029)	(90.2)	
	（長期前払消費税償却額）	(61,898)	(56,851)	(5,047)	(108.9)	
	（雑　支　出）	(457,341)	(414,006)	(43,335)	(110.5)	※8
	特別損失	**2,352**	**14,588**	**△ 12,236**	**16.1**	
	（固定資産売却損）	(0)	(8,280)	(△ 8,280)	(皆減)	※9
	（固定資産除却損）	(0)	(731)	(△ 731)	(皆減)	
	（過年度損益修正損）	(2,352)	(5,577)	(△ 3,225)	(42.2)	
	費　用　合　計	**12,919,738**	**12,584,134**	**335,604**	**102.7**	
当年度純利益		**586,971**	**366,610**	**220,361**	**160.1**	
繰越未処分利益剰余金		**733,524**	**366,914**			
未処分利益剰余金		**1,320,494**	**733,524**			
利益処分額（案）		**0**	**0**			

＜主な増加・減少理由＞

※1　DPC入院期間Ⅰ・Ⅱ期(全国平均入院日数以内)の入院期間率が向上　令和３年度 66.4% → 令和４年度 67.4%
　　入院単価の上昇　　令和３年度 64,417円/人(＊1) → 令和４年度 70,059円/人(＊2)

※2　小児医療・高度医療・リハビリテーション医療等の一般会計負担金減少

※3　国庫補助金を財源とした固定資産の減価償却費の増加

※4　企業債償還元金の額が増加したことに伴う繰入金の増加

※5　令和３年度 X線CT装置売却益

※6　材料使用量の増加

※7　原油価格高騰による電力及びガス単価上昇、放射線装置の修繕（管球交換）

※8　仮払消費税のうち非課税売上対応分の増加

※9　令和３年度 MRI超伝導磁気共鳴断層撮影装置売却損

（２） 資本的収入及び支出（税込）

（単位 千円）

	区　　分	令和４年度	令和３年度	増減額	前年比(%)	備考
収入	企　業　債	864,500	700,900	163,600	123.3	
	他会計負担金	36,789	35,787	1,002	102.8	
	寄　附　金	9,810	0	9,810	(皆増)	※10
	投資返還金	530,351	917,429	△ 387,078	57.8	※11
	他会計借入金	0	300,000	△ 300,000	(皆減)	※12
	国県補助金	1,903	121,967	△ 120,064	1.6	※13
	固定資産売却代金	0	3,861	△ 3,861	(皆減)	
	収入合計	**1,443,353**	**2,079,944**	**△ 636,591**	**69.4**	
支出	建設改良費	907,100	846,129	60,971	107.2	
	（建設改良工事費）	(74,263)	(272,116)	(△ 197,853)	27.3	※14
	（固定資産購入費）	(826,950)	(568,228)	(258,722)	145.5	※15
	（リース資産購入費）	(5,887)	(5,785)	(102)	101.8	
	企業債償還金	1,007,236	834,533	172,703	120.7	
	他会計借入金償還金	800,000	300,000	500,000	266.7	※16
	支出合計	**2,714,336**	**1,980,662**	**733,674**	**137.0**	
資本的収支差額		**△ 1,270,983**	**99,282**	**△ 1,370,265**	**△ 1,280.2**	

補填財源	消費税資本的収支調整額	3,393
	損益勘定留保資金	1,267,590
	合　計	1,270,983

＜主な内容＞

※10 （令和４年度）医療機器連携バイタルシステム購入財源

※11 退職手当組合負担金調整額の一般会計からの前倒し返還有
令和３年度 838,660千円、令和４年度 451,583千円が前倒し返還額

※12 （令和３年度）一般会計借入金　300,000千円

※13 （令和３年度）全身用X線CT診断装置一式 66,000千円、人工呼吸器追加(4台)一式 19,987千円等購入財源

※14 （令和３年度）検査棟外屋上防水改修工事 49,500千円、プロムナード外屋上防水改修工事 48,400千円
（令和４年度）中央手術室冷房増強設備設置工事　30,580千円ほか

※15 （令和４年度）医療情報システム更新事業　597,361千円、透析システム一式　84,700千円ほか

※16 （令和３年度）借入金返済額（一般会計 300,000千円）
（令和４年度）借入金返済額（一般会計 550,000千円、水道事業 250,000千円）

＊ 令和4年度入院収益には令和3年度に診療した新型コロナウイルス感染症入院患者に係る診療報酬の一部(101,880千円)を算入。この額を補正した入院単価は次のとおり。

＊1 令和３年度入院単価　65,477円

＊2 令和４年度入院単価　68,967円

3　建設改良費の内訳

（単位：円）

大区分	中区分	小区分	内　　容	金　額
建設改良費	建設改良工事費	工事請負費	中央手術室冷房増強設備設置工事	30,580,000
			病理検査湿度改善工事	9,900,000
			西病棟５～８階 FCUｺﾝﾄﾛｰﾗｰ修繕	9,889,000
			中央手術室ICU系統空冷チラー取替修繕	8,800,000
			中央汚水室排水設備整備修繕	6,734,200
			西病棟５～８階 病室自動水栓取替修繕	4,455,000
			井水処理設備ろ過器整備修繕	1,870,000
			中央機械室蒸気ボイラー整備修繕	1,375,000
			4階空調機械室タラップ安全ガード新設	660,000
			合　計	**74,263,200**
	固定資産購入費	器械備品費	電子ｶﾙﾃｼｽﾃﾑ更新	597,361,600
			透析ｼｽﾃﾑ一式及び血液浄化装置	84,700,000
			放射線治療装置ﾍﾘｶﾙkVCTｵﾌﾟｼｮﾝ追加	19,800,000
			放射線治療計画装置ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ一式	19,800,000
			ﾊﾞｲﾀﾙ機器連携ｼｽﾃﾑ一式	13,750,000
			全自動錠剤分包機・錠剤自動仕分返納装置	13,178,000
			電動手術台・下肢牽引装置ｾｯﾄ一式	7,425,000
			診察券発行機更新	6,160,000
			LED無影灯	6,105,000
			歯科検査・治療用椅子一式	5,500,000
			内視鏡ｼｽﾃﾑ一式	5,390,000
			膀胱腎盂ﾋﾞﾃﾞｵｽｺｰﾌﾟ	5,148,000
			医療機器管理運営システム一式	4,290,000
			ﾃﾞｼﾞﾀﾙ眼振計一式	4,221,800
			超音波画像診断装置一式	3,960,000
			公営企業会計システム用サーバー一式更新	3,847,800
			電気ﾒｽ一式	1,782,000
			滅菌コンテナー（10個）	1,656,050
			超音波血流計装置一式	1,639,000
			医療安全対策推進ｼｽﾃﾑ更新	1,584,000
			術中四肢血流閉塞装置一式	1,309,000
			ﾏｲｸﾛ器械ｾｯﾄ一式	1,298,000
			ﾋﾞﾃﾞｵ付き気管支鏡	1,210,000
			ｲﾝﾌｨﾆﾃｨNEOSONIXOZILﾊﾝﾄﾞﾋﾟｰｽA	1,177,000
			ｽﾎﾟｯﾄﾋﾞｼﾞｮﾝｽｸﾘｰﾅｰ一式	1,100,000
			動的量的視野測定装置一式	1,094,500
			100万円以下の器械備品の計	12,463,138
			合　計	**826,949,888**
	リース資産購入費	リース資産購入費	整形外科ナビゲーションシステム	5,887,404
			合　計	**5,887,404**

4　業務実績の推移（平成30年度～令和４年度）

（１）病床数と入院患者数の推移

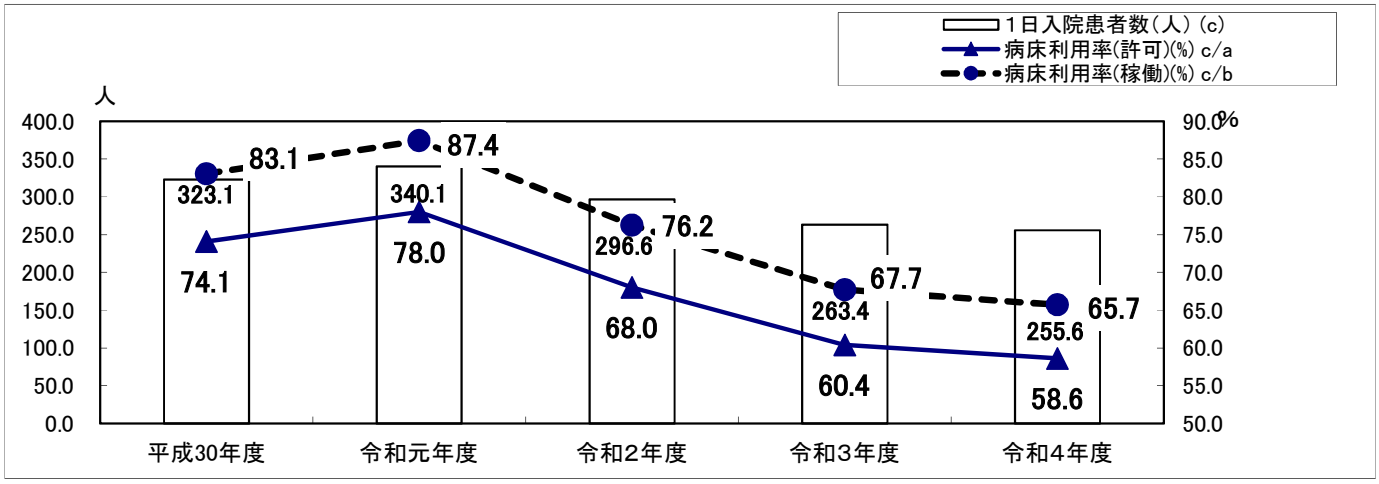
① 総括推移

	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
許可病床数（床）　(a)	436	436	436	436	436
稼働病床数（床）　(b)	389	389	389	389	389
稼働割合（%）　b/a	89	89	89	89	89
１日入院患者数（人）(c)	323.1	340.1	296.6	263.4	255.6
病床利用率(許可)(%) c/a	74.1	78.0	68.0	60.4	58.6
病床利用率(稼働)(%) c/b	83.1	87.4	76.2	67.7	65.7

② 診療科別延入院患者数の推移

診療科	入　院　患　者　数　（人）						
	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	増減数	前年度比
内科	209	486	224	506	1,571	1,065	310%
小児科	3,297	1,808	547	901	706	-195	78%
外科	11,770	9,311	7,914	6,824	6,433	-391	94%
整形外科	20,650	23,486	16,868	15,681	14,500	-1,181	92%
リハビリテーション科	0	0	0	0	0	0	-
皮膚科	3,832	4,010	3,208	2,079	2,245	166	108%
泌尿器科	6,579	5,858	6,657	6,160	5,157	-1,003	84%
産婦人科	0	0	0	0	0	0	-
眼科	2,550	2,523	1,943	1,807	1,811	4	100%
耳鼻咽喉科	3,003	3,647	2,215	2,305	1,857	-448	81%
放射線診断科（放射線科）	19	0	0	0	0	0	-
麻酔科	0	0	0	0	0	0	-
脳神経外科	5,267	5,597	3,498	3,614	5,939	2,325	164%
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	-
心療内科	0	0	0	0	0	0	-
歯科口腔外科	1,118	1,445	855	820	819	-1	100%
循環器内科	5,507	5,804	4,915	3,828	3,702	-126	97%
消化器内科	13,945	14,573	15,473	13,744	11,817	-1,927	86%
呼吸器内科	3,821	6,074	7,234	8,138	7,440	-698	91%
呼吸器外科	1,339	385	958	1,051	718	-333	68%
腎臓内科	2,841	3,287	3,014	2,513	2,238	-275	89%
緩和ケア内科	5,550	5,540	4,619	564	2,409	1,845	427%
血液内科	10,418	9,711	10,171	9,841	8,631	-1,210	88%
リウマチ科	3,420	2,878	2,742	1,762	2,312	550	131%
総合内科	0	0	0	0	0	0	-
形成外科	3,855	3,552	2,404	2,342	1,884	-458	80%
腫瘍内科	4,112	7,666	6,764	5,045	3,723	-1,322	74%
糖尿病内科	0	1,119	847	880	782	-98	89%
放射線治療科	0	0	0	0	0	0	-
乳腺外科	-	-	135	837	662	135	79%
救急科	4,843	5,721	5,060	4,894	5,930	1,036	121%
合計	117,945	124,481	108,265	96,136	93,286	-2,850	97%

③ 入院患者数等の推移



(2) 入院収益の推移

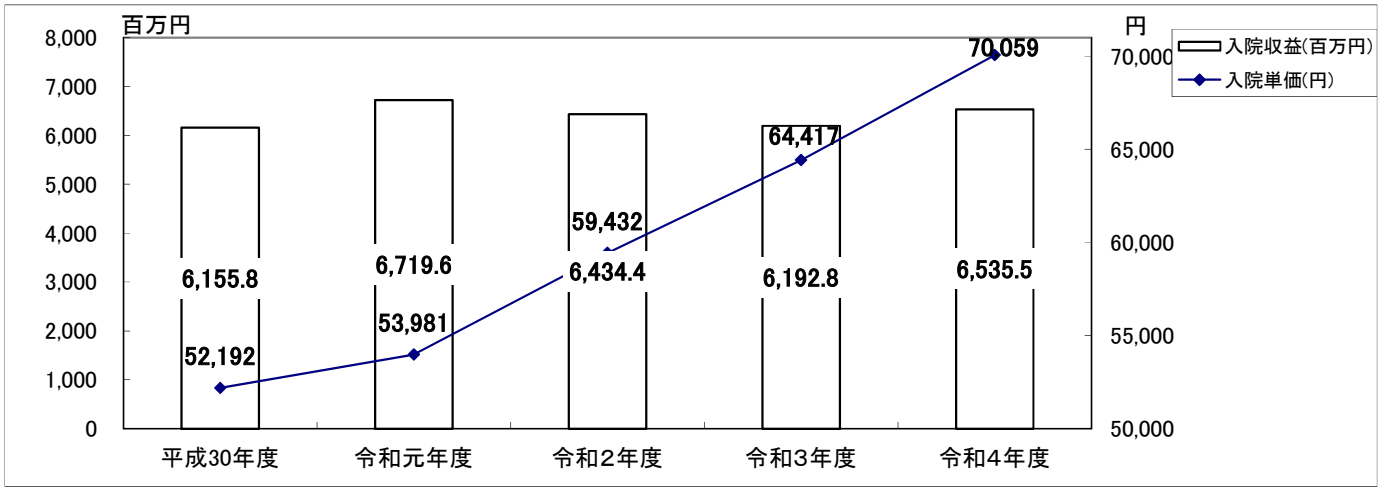
① 総括推移

	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
入院収益(百万円)	6,155.8	6,719.6	6,434.4	6,192.8	6,535.5
入院単価(円)	52,192	53,981	59,432	64,417	70,059

② 診療科別推移

診療科	入　院　収　益　（百万円）						
	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	増減額	前年度比
内科（総合内科含む）	10.9	24.9	13.1	59.5	170.0	110.5	286%
小児科	165.5	84.2	32.2	54.1	45.9	-8.2	85%
外科	692.9	606.0	612.2	538.9	572.7	33.8	106%
整形外科	996.5	1,227.2	1,030.2	990.4	985.9	-4.5	100%
リハビリテーション科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
皮膚科	148.0	158.9	137.0	89.6	112.1	22.5	125%
泌尿器科	380.9	333.1	393.0	384.1	361.1	-23.0	94%
産婦人科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
眼科	165.8	169.7	144.0	147.9	155.7	7.8	105%
耳鼻咽喉科	186.5	234.6	145.9	149.2	154.2	5.0	103%
脳神経外科	305.6	318.0	198.4	240.5	394.5	154.0	164%
放射線診断科（放射線科）	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
麻酔科	0.1	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-
心臓血管外科	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	-
心療内科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
歯科口腔外科	60.9	76.1	48.2	54.6	60.3	5.7	110%
循環器内科	287.4	332.6	336.5	259.0	283.2	24.2	109%
消化器内科	680.6	740.6	820.0	772.9	736.5	-36.4	95%
呼吸器内科	164.3	289.5	358.6	439.1	452.3	13.2	103%
呼吸器外科	149.9	43.4	146.7	142.2	124.8	-17.4	88%
腎臓内科	115.1	133.0	124.0	113.8	101.6	-12.2	89%
緩和ケア内科	257.1	269.1	226.8	39.8	124.7	84.9	313%
血液内科	632.0	633.7	682.2	723.5	764.5	41.0	106%
リウマチ科	155.6	140.4	134.1	94.8	105.4	10.6	111%
形成外科	180.5	175.3	125.5	118.4	132.5	14.1	112%
腫瘍内科	199.5	418.7	383.3	315.5	230.2	-85.3	73%
糖尿病内科	0.0	42.5	32.4	37.0	32.8	-4.2	89%
放射線治療科	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
乳腺外科	-	-	12.2	59.5	60.8	12.2	102%
救急科	218.7	267.7	297.9	368.5	373.8	5.3	101%
合計	6,155.8	6,719.6	6,434.4	6,192.8	6,535.5	342.7	106%

③ 入院収益等の推移



（3） 外来患者数の推移

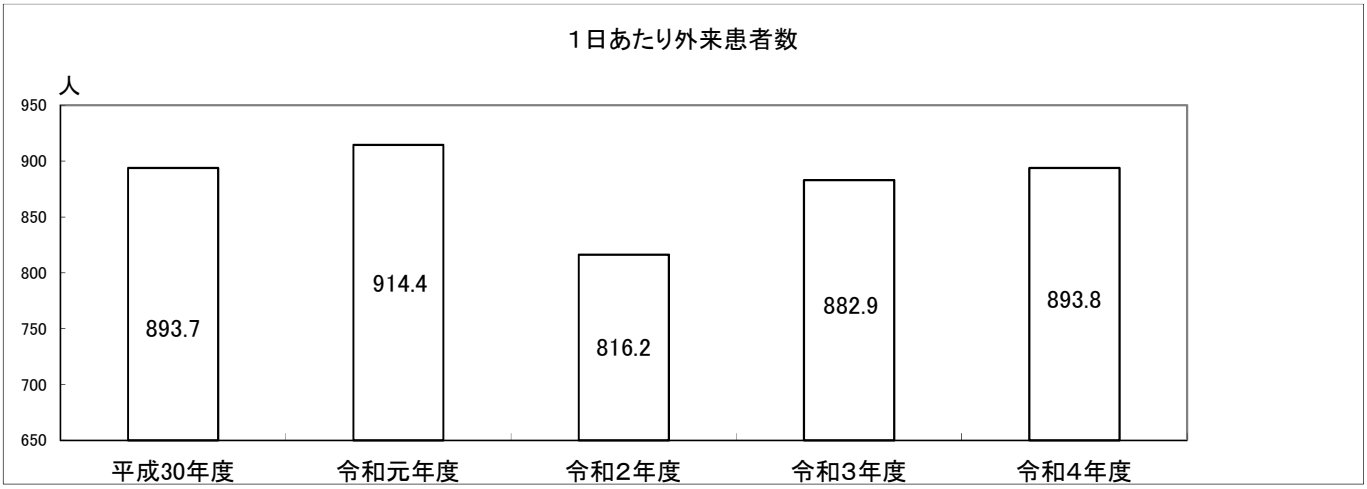
① 総括推移

	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
１日外来患者数(人)	893.7	914.4	816.2	882.9	893.8

② 診療科別延外来患者数の推移

診療科	外　来　患　者　数　（人）						
	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	増減数	前年度比
内科	2,619	2,696	3,593	3,149	2,896	-253	92%
小児科	8,930	7,916	4,679	5,319	6,059	740	114%
外科	12,763	10,896	9,198	6,934	6,689	-245	96%
整形外科	19,329	19,145	15,309	17,140	16,787	-353	98%
リハビリテーション科	666	828	686	638	519	-119	81%
皮膚科	20,609	20,832	18,760	17,763	19,006	1,243	107%
泌尿器科	19,419	18,135	16,567	17,491	16,052	-1,439	92%
産婦人科	1,594	1,472	1,481	1,588	1,425	-163	90%
眼科	12,632	11,898	10,931	11,263	11,181	-82	99%
耳鼻咽喉科	13,357	12,823	10,789	11,985	11,995	10	100%
放射線診断科（放射線科）	1,996	1,966	1,457	1,752	1,981	229	113%
麻酔科	85	83	100	79	98	19	124%
脳神経外科	3,223	3,303	2,596	2,511	2,532	21	101%
心臓血管外科	18	15	11	9	0	-9	0%
心療内科	678	637	698	715	672	-43	94%
歯科口腔外科	12,297	12,621	9,620	9,813	11,231	1,418	114%
循環器内科	10,520	11,341	8,988	9,233	9,414	181	102%
消化器内科	21,534	22,785	22,571	24,406	24,823	417	102%
呼吸器内科	4,701	6,405	7,621	9,367	10,115	748	108%
呼吸器外科	1,740	1,305	1,334	1,054	1,012	-42	96%
腎臓内科	12,958	12,925	12,334	11,986	12,384	398	103%
緩和ケア内科	346	366	392	142	371	229	261%
血液内科	6,526	7,169	6,627	6,820	7,132	312	105%
リウマチ科	9,271	9,367	8,811	9,757	10,078	321	103%
総合内科	1,921	1,833	1,146	1,263	1,182	-81	94%
形成外科	7,633	7,503	5,422	5,858	4,872	-986	83%
腫瘍内科	3,254	6,104	6,808	6,417	5,962	-455	93%
糖尿病内科	1,240	2,352	3,155	3,464	3,819	355	110%
放射線治療科	4,622	5,836	4,907	5,862	6,159	297	105%
乳腺外科	-	-	774	4,645	5,072	427	109%
救急科	1,584	1,651	3,422	7,002	7,454	452	106%
合計	218,065	222,208	200,787	215,425	218,972	3,547	102%

③ 外来患者数の推移



（４）外来収益の推移

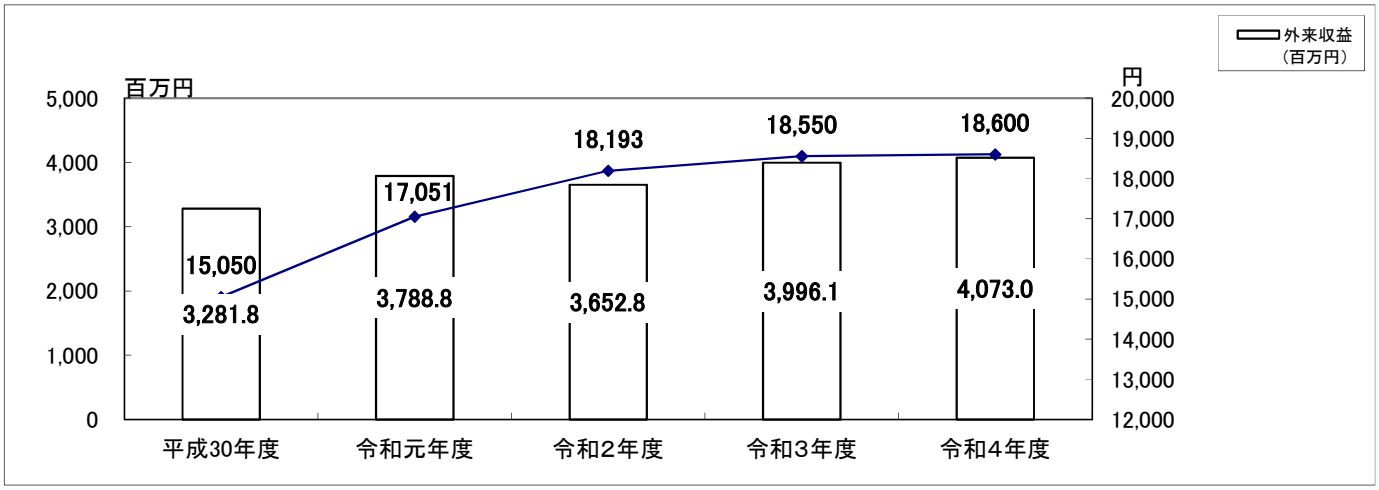
① 総括推移

	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度
外来収益(百万円)	3,281.8	3,788.8	3,652.8	3,996.1	4,073.0
外来単価(円)	15,050	17,051	18,193	18,550	18,600

② 診療科別推移

診療科	外　来　収　益　（百万円）						
	平成30年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	増減額	前年度比
内科（総合内科含む）	43.1	42.3	48.1	46.4	41.3	-5.1	89%
小児科	95.6	86.4	62.8	60.5	68.7	8.2	114%
外科	312.9	254.7	164.5	82.9	78.4	-4.5	95%
整形外科	134.3	139.3	109.7	125.2	119.9	-5.3	96%
リハビリテーション科	1.8	2.5	2.4	2.4	1.9	-0.5	79%
皮膚科	140.0	146.4	121.1	117.5	137.1	19.6	117%
泌尿器科	282.2	260.7	237.3	264.1	245.2	-18.9	93%
産婦人科	12.6	10.4	14.0	15.2	13.5	-1.7	89%
眼科	88.6	92.0	99.2	113.6	109.2	-4.4	96%
耳鼻咽喉科	106.9	105.3	98.4	115.9	107.7	-8.2	93%
脳神経外科	36.7	42.0	32.1	29.2	30.6	1.4	105%
放射線診断科（放射線科）	52.0	51.6	37.5	43.7	48.9	5.2	112%
麻酔科	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	100%
心臓血管外科	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	-0.1	0%
心療内科	1.7	1.4	1.5	1.7	1.4	-0.3	82%
歯科口腔外科	80.1	87.9	70.2	77.4	83.7	6.3	108%
循環器内科	111.2	121.1	95.4	97.2	100.1	2.9	103%
消化器内科	341.8	361.2	357.9	408.5	431.5	23.0	106%
呼吸器内科	61.2	146.5	223.4	345.7	409.2	63.5	118%
呼吸器外科	36.8	25.4	17.8	13.9	12.5	-1.4	90%
腎臓内科	305.1	295.7	259.2	251.3	254.8	3.5	101%
緩和ケア内科	0.4	0.5	0.6	0.2	0.3	0.1	150%
血液内科	295.1	315.6	339.0	372.8	433.2	60.4	116%
リウマチ科	217.5	221.9	207.3	231.5	225.9	-5.6	98%
形成外科	40.0	40.9	33.2	36.1	30.4	-5.7	84%
腫瘍内科	348.3	735.9	790.1	668.3	536.4	-131.9	80%
糖尿病内科	19.6	32.0	41.0	46.9	52.6	5.7	112%
放射線治療科	93.0	136.8	127.7	206.8	217.1	10.3	105%
乳腺外科	-	-	25.6	152.8	179.4	25.6	117%
救急科	23.2	32.2	35.6	68.2	102.1	33.9	150%
合計	3,281.8	3,788.8	3,652.8	3,996.1	4,073.0	76.9	102%

③ 外来収益等の推移



5　主な経営数値

（1）経常収支比率

経常費用（医業費用＋医業外費用）に対する経常収益（医業収益＋医業外収益）の割合を示す指標です。100％で経常費用と経常収益が均衡し、100％を超えると経常利益が、また 100％未満では経常損失が発生しています。

令和４年度は 104.5％で 100％を超え、二期連続の経常黒字となりました。

	平成30年度末	令和元年度末	令和２年度末	令和３年度末	令和４年度末
経常収支比率	95.0%	96.4%	96.8%	103.0%	104.5%
全国平均※	98.7%	98.1%	102.4%	106.0%	－

※ 総務省　令和３年度地方公営企業等決算の概要　病院事業より

（2）純利益および未処分利益剰余金

当年度純利益は、その年度の利益を表します。また、未処分利益剰余金は毎年度の利益および損失の累計額です。

（単位：千円）

	平成30年度末	令和元年度末	令和２年度末	令和３年度末	令和４年度末
当年度純利益	△ 589,582	△ 51,325	160,064	366,610	586,971
当年度未処分利益剰余金	258,175	206,850	366,914	733,524	1,320,495

（3）年度末の一時借入金及び長期借入金残高

各年度末における一時的な借入金（短期的な借入金）と長期的な借入金の残高は以下のとおりです。資金不足等解消計画に基づき、引き続き資金不足の解消及び財政状態の健全化に取り組んでいきます。

（単位：千円）

	平成30年度末	令和元年度末	令和２年度末	令和３年度末	令和４年度末
一時借入金残高	1,400,000	1,500,000	1,100,000	0	0
長期借入金残高	1,960,000	1,960,000	1,960,000	1,960,000	1,160,000

（4）企業債借入額、償還額及び残高

企業債とは施設の建設・改修や医療機器の購入に充てるために国等から借りる資金のことです。借入額よりも償還額が上回っており、企業債残高は減少傾向にあります。

（単位：千円）

	平成30年度末	令和元年度末	令和２年度末	令和３年度末	令和４年度末
企業債借入額	449,200	474,300	519,100	700,900	864,500
企業債償還額	455,833	784,147	764,251	834,533	1,007,236
企業債残高	7,221,505	6,911,658	6,666,507	6,532,874	6,390,138

6　各種業務指標

（1）入院・外来

① 入院に関する指標

	H30	R1	R2	R3	R4
延入院患者数（年）	117,945人	124,481人	108,265人	96,136人	93,286人
入院患者数（日）	323.1人	340.1人	296.6人	263.4人	255.6人
新入院患者数（年）	9,664人	10,771人	9,103人	8,974人	9,073人
平均在院日数	11.9日	10.6日	10.9日	10.7日	10.3日
入院単価	52,192円	53,981円	59,432円	64,417円	70,059円

② 外来に関する指標

	H30	R1	R2	R3	R4
延外来患者数（年）	218,065人	222,208人	200,787人	215,425人	218,972人
外来患者数(日)	893.7人	914.4人	816.2人	882.9人	893.8人
初診患者数(日)	118.7人	120.5人	103.4人	121.4人	126.3人
再診患者数(日)	775.0人	793.9人	712.8人	761.5人	767.5人
外来単価	15,050円	17,051円	18,193円	18,550円	18,600円

（2）救急

① 救急受入に関する指標

	H30	R1	R2	R3	R4
救急受入件数（時間内外）	8,936人	8,933人	6,125人	6,224人	7,986人
うち、救急車受入件数	4,091人	4,674人	3,018人	2,787人	4,443人
救急受入件数（時間外）	7,331人	6,900人	4,593人	4,717人	5,357人
入院化率（救急外来）	24.7%	26.6%	49.3%	44.8%	36.6%

※時間外（平日の16：45～翌日8：00、土日祝日）

② 重症患者の救急受入に関する指標

	H30	R1	R2	R3	R4
ICU緊急入院件数	194人	154人	169人	158人	247人
心肺停止件数	101人	92人	64人	67人	141人

③ 小児重症患者の救急受入に関する指標

	H30	R1	R2	R3	R4
救急受診患者数（外）	455人	88人	31人	45人	78人
救急受診患者数（入）	293人	61人	28人	47人	32人
救急受診患者数（計）	748人	149人	59人	92人	110人
転送受入患者数	131人	26人	5人	9人	20人

※転送受入患者数：阪神北こども急病センターから入院目的で転送された患者数

（3）がん・脳卒中・急性心筋梗塞

① がん入院患者数

	H30	R1	R2	R3	R4
がん入院患者数	2,209人	2,560人	2,656人	2,387人	2,480人

② 外来化学療法患者数

	H30	R1	R2	R3	R4
外来化学療法患者数	2,686人	3,001人	3,210人	3,653人	4,137人
※放射線治療新規患者数	206人	267人	263人	304人	324人
※がん手術件数	576件	569件	666件	648件	604件
※がん患者指導管理料１件数	567件	2,170件	2,101件	1,827件	1,340件

※がん手術件数は、Kコードに「悪性」を含む合計で、手術室以外の実施分を含む（がん拠点申請用）

③ 脳卒中入院患者数

	H30	R1	R2	R3	R4
脳卒中入院患者数	199人	225人	144人	201人	227人

④ 急性心筋梗塞入院患者数

	H30	R1	R2	R3	R4
急性心筋梗塞入院患者数	23人	22人	14人	23人	25人

（4）手術

① 手術室の稼動に関する指標

	H30	R1	R2	R3	R4
手術室稼働率	64.0%	64.0%	60.0%	59.0%	61.8%

② 手術難度に関する指標

	H30	R1	R2	R3	R4
全身麻酔件数	1,613件	1,838件	1,885件	1,927件	2,087件
その他麻酔件数	1,986件	1,945件	1,691件	1,691件	1,671件
合計（手術件数）	3,599件	3,783件	3,576件	3,618件	3,758件
悪性腫瘍手術	349件	381件	511件	483件	449件
緊急手術	213件	260件	273件	250件	259件

（5）後発医薬品

後発医療品の数量シェア

	H30	R1	R2	R3	R4
後発医療品の数量シェア	89.4%	90.0%	89.9%	88.7%	87.7%

後発医薬品の数量シェア＝後発薬品数÷（後発医薬品がある先発医薬品数+後発医薬品数）

（6）職員数等

① 職員数

	H30	R1	R2	R3	R4
医師	76人	78人	85人	81人	78人
薬剤師	27人	27人	27人	27人	28人
診療放射線技師	20人	22人	22人	21人	22人
臨床検査技師	27人	28人	27人	27人	27人
理学療法士	7人	9人	7人	8人	8人
作業療法士	4人	5人	5人	5人	5人
管理栄養士	6人	6人	6人	6人	6人
視能訓練士	2人	2人	2人	2人	2人
臨床工学技士	8人	10人	10人	9人	8人
歯科衛生士	3人	3人	3人	3人	3人
言語聴覚士	3人	3人	3人	2人	3人
MSW	5人	4人	4人	4人	4人
CRC	2人	1人	1人	1人	1人
助産師	1人	1人	1人	1人	1人
看護師	404人	407人	391人	369人	355人
事務職員	22人	23人	25人	26人	24人
合計	617人	629人	619人	592人	575人

※年度末

② 研修医確保に関する指標

	H30	R1	R2	R3	R4
臨床研修医数	12人	13人	14人	12人	11人
後期研修医数	4人	5人	3人	4人	4人

※各年4月1日現在

（7）人件費

① 職員給与費・職員給与費比率

（職員給与費の単位　百万円）

	H30	R1	R2	R3	R4
職員給与費	6,250	6,615	6,680	6,556	6,550
職員給与費比率	61.9%	59.7%	62.7%	60.9%	58.4%

※職員給与費比率＝職員給与費/医業収益

② 総人件費

（職員給与費等の単位　百万円）

	H30	R1	R2	R3	R4
職員給与費	6,250	6,615	6,680	6,556	6,550
報償費	284	290	281	295	284
委託費（業務委託）	930	989	1,015	994	1,006
合計	7,464	7,894	7,976	7,845	7,840
総人件費対医業収益比率	73.9%	71.2%	74.9%	72.9%	69.9%

※総人件費対医業収益比率＝（職員給与費+報償費+業務委託費）/医業収益

（8）材料費

材料費に関する指標

（薬品費、診療材料費の単位　百万円）

	H30	R1	R2	R3	R4
薬品費	1,516	1,875	1,907	1,943	2,014
薬品費率	15.0%	16.9%	17.9%	18.1%	18.0%
診療材料費	649	735	743	725	769
診療材料費率	6.4%	6.6%	7.0%	6.7%	6.9%
※材料費率	21.5%	23.6%	24.9%	24.8%	24.9%

薬品費率＝薬品費／医業収益、診療材料費率＝診療材料費／医業収益

（9）地域連携体制推進

紹介患者等に関する指標

	H30	R1	R2	R3	R4
紹介率	66%	71%	64%	59%	58%
逆紹介率	97%	112%	94%	88%	94%
紹介患者数	11,740人	12,518人	10,624人	11,995人	12,175人
逆紹介患者数	17,282人	19,657人	15,698人	17,728人	19,654人

紹介率＝紹介患者数/（初診患者数-（救急搬送患者数+時間外患者数））

逆紹介率＝逆紹介患者数/（初診患者数-（救急搬送患者数+時間外患者数））

7　新型コロナウイルス感染症入院患者数等に関する資料

（1）令和 4 年度各月の業務量

月	入院患者数（実数）	入院患者数（延べ数）①	コロナ病床総数②	稼働率①/②	PCR 検査検体採取数③	左のうち陽性者数④	陽性率④/③
4 月	32	165	420	39.3%	117	60	51.3%
5 月	9	84	434	19.4%	90	44	48.9%
6 月	16	85	420	20.2%	50	12	24.0%
7 月	19	112	434	25.8%	1,070	843	78.8%
8 月	33	228	434	52.5%	1,760	1,484	84.3%
9 月	44	289	420	68.8%	338	221	65.4%
10 月	16	119	434	27.4%	114	43	37.7%
11 月	28	205	420	48.8%	80	40	50.0%
12 月	51	299	434	68.9%	241	187	77.6%
1 月	39	325	434	74.9%	324	220	67.9%
2 月	20	168	392	42.9%	79	22	27.8%
3 月	6	48	296	16.2%	8	1	12.5%
合計	313	2,127	4,972	42.8%	4,271	3,177	74.4%

※PCR 検査は行政検査分とし、令和 5 年 3 月 12 日まで実施

（2）専用病床の確保状況

運用開始年月日	専用病床確保数
令和 2 年　3 月 11 日から	2 床（重症 1、軽症 1）
令和 2 年　5 月 11 日から	6 床（重症 2、中等症・軽症 4）
令和 2 年 12 月　1 日から	14 床（重症 2、中等症・軽症 12）
令和 3 年　5 月　1 日から	14 床（重症 4、中等症・軽症 10）
令和 3 年 12 月 24 日から	14 床（重症 2、中等症・軽症 12）
令和 5 年　3 月　9 日から	8 床（重症 1、中等症・軽症 7）

※ 令和 2 年(2020 年)12 月 1 日から兵庫県新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症重点医療機関

※ 令和 5 年(2023 年) 6 月 1 日から兵庫県新型ｺﾛﾅｳｲﾙｽ感染症一般医療機関

（3）帰国者・接触者外来、発熱外来の設置状況

帰国者・接触者外来　　令和 2 年 2 月 13 日設置(令和 5 年 3 月 12 日まで)

発熱外来（総合内科）　　令和 2 年 4 月 13 日設置(令和 5 年 8 月 1 日から総合内科で)